

デビュー44年目 天才漫画家きたがわ翔 展示開催

11/1(土)～11/8(土)「山田玲司ときたがわ翔 れいとしょう展2025 ～こもれび～」大阪開催

～人気YouTube企画「れいとしょう」コンビによる初の合同展示～

プロフェッショナル・エージェンシー事業を展開する株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都港区、代表取締役社長:黒崎 淳、以下C&R社)が協力する「山田玲司ときたがわ翔 れいとしょう展2025 ～こもれび～」が、11月1日(土)～8日(土)に「大阪 Gallery La Campanella(ラ カンパネラ)」で開催されます(大阪府大阪市)。

今回は漫画家 山田玲司氏との合同展示「れいとしょう展」を開催いたします。両氏による合同誌を発表するほか、11月3日(月・祝)には山田玲司氏が主催を務める番組「山田玲司のヤングサンデー」内、きたがわ翔氏との人気コラボ企画「れいとしょう」を会場から生配信いたします。ぜひ放送もご覧ください。

きたがわ翔原画展 2025 ～こもれび～ 大阪開催 概要



山田玲司ときたがわ翔 れいとしょう展 2025～こもれび～

協力:株式会社クリーク・アンド・リバー社

©2025 Kitagawa



山田玲司ときたがわ翔 れいとしょう展 2025～こもれび～

2025年11月1日(土)～11月8日(土)
※3日(月・祝) 15:00～20:00 ※6日(木) 14:00～18:00
時間 平日14:00～20:00 / 土日12:00～20:00
場所 大阪 Gallery La Campanella

ミュージシャン天道清貴さんとの
トークライブ開催!
11月11日(木)19:00～20:30(18:40受付開始)
場所 La Campanella 1Fサロン
参加費 3,000円(税込)
(当日会場にてお支払いをお願いします)
詳細はXにてご確認をお願いいたします。

ヤングサンデー生配信決定!
11月3日(月・祝)19:00～20:00

今年の大阪府民文化祭で山田玲司氏と、俺と翔のユニット「山田玲司ときたがわ翔」の合同展「れいとしょう展」を開催いたします。両氏の作品を展示するほか、11月3日(月・祝)には山田玲司氏が主催を務める番組「山田玲司のヤングサンデー」内、きたがわ翔氏との人気コラボ企画「れいとしょう」を会場から生配信いたします。ぜひ放送もご覧ください。

きたがわ翔
@kitagawa_sho
協力:株式会社クリーク・アンド・リバー社



■日時

2025年11月1日(土)～11月8日(土) 11:00～19:00

■場所

「大阪 Gallery La Campanella(ラ カンパネラ)」
住所:大阪府大阪市中央区大手通2丁目1-9
TEL/FAX:06-7710-8948
HP: <https://la-campanella.jp/index.html>

■入場料

無料

■協力

株式会社クリーク・アンド・リバー社

■ミュージシャン天道清貴さんとのトークライブ

日時:2025年11月6日(木)19:00～20:30(18:40受付開始)
場所: La Campanella 1Fサロン
参加費:3,000円(税込)当日会場にてお支払いをお願いいたします
詳細はXにてご確認をお願いいたします。
きたがわ翔氏公式X: https://twitter.com/kitagawa_sho

【ご取材のお申し込み先】

株式会社エススタジオ 担当:太田

E-Mail: purpose_1@mac.com

【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jpTEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL: <https://www.cri.co.jp>

きたがわ翔氏からファンの方へのメッセージ

今回の大阪展は友人漫画家の山田玲司氏と、彼主催のニコニコ動画(ヤングサンデー)の人気コンテンツ(れいとしょう)を絡めたコラボ企画の原画展となります。いつも私の原画展を楽しみにしてくださる方はもちろん、ヤンサンファミリーやれいとしょうファンの方も是非お立ち寄りください。なお、コラボグッズや合同の小冊子なども販売いたします。

＜会場で販売されるコラボグッズや合同冊子＞



人気企画「れいとしょう」個展会場から生配信決定！

番組「山田玲司のヤングサンデー」内の人気企画「れいとしょう」の生配信を会場から行います。

■2025年11月3日(月・祝) 12:00 ~ 14:00

ぜひ放送をご覧ください。

【「れいとしょう」について】

どんな時代でもとりあえず“ゴキゲン”であることをモットーに、漫画、アニメ、映画、芸術、恋愛、スポーツ、歴史など、現代社会のあらゆる事象を斬新かつ普遍的なまなざしで斬りまくる、生放送のトークライブプログラム「山田玲司のヤングサンデー」。番組内の人気企画「れいとしょう」は、山田玲司氏ときたがわ翔氏が漫画への熱い思いを存分に語り尽くす人気企画です。往年の名作から最新のタイトルまで網羅する幅広い話題と、両氏の軽妙なトークが多くの漫画ファンを魅了しています。

▼YouTubeチャンネル「れいとしょう」再生リスト

<https://youtube.com/playlist?list=PLAbf2OctBJVO4YZWZEUGoG0plZuN9QM9c&si=CvfsUop38aeomt67>

▼ニコニコチャンネル「れいとしょう」再生リスト

https://ch.nicovideo.jp/search/%E3%82%8C%E3%81%84%E3%81%A8%E3%81%97%E3%82%87%E3%81%86?channel_id=ch2599258&mode=s&sort=f&order=d&type=video

【きたがわ翔 プロフィール】



©Sho Kitagawa

1981年にデビューした漫画家。男性、O型。1981年中学2年のとき、第159回『別冊マーガレット』(集英社)まんがスクールへの応募で『番長くんはごきげんななめ』が佳作受賞。同年『番長くんはごきげんななめ』(『別冊マーガレット』)でデビュー。1986年『ヤングジャンプ』に『TEENSしようか!』を隔週連載、青年誌の活動の場を移す。1988年から同誌で連載した『19<NINETEEN>』は主人公と作者の実年齢がほぼ等しく、10代終わりの微妙な心理をリアルに描き、読者の支持を得て、ビデオアニメ化もされる。また、画力に支えられた卓抜したトーンワークも特徴。1990年からは『ヤングジャンプ』で水泳が題材の『B.B.フィッシュ』を連載した。家族の絆を描いた『ホットマン』(集英社)は、TBSで2度テレビドラマ化される(2003年、2004年)。また、『C』(集英社)、『刑事が一匹…』(講談社)、『デス・スウィーパー』(角川書店)、『ソウルメッセンジャー』[原作:藤沢とおる](集英社)、『アントルメティエ』[原作:早川光](集英社)など幅広く多彩な作風を持っている。2025年、漫画家歴44年を迎えた現在も精力的に創作活動を行っている。

公式X: https://twitter.com/kitagawa_sho

【山田玲司 プロフィール】



1966年東京都生まれ。多摩美術大学 絵画科(油画)卒業。

在学中の20歳の時に「コミックモーニング」で漫画家デビュー。以降、商業誌で30年間、現在も月刊スピリッツで連載中。

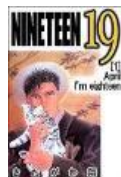
91年、生物オタクが主人公のラブコメ『Bバージン』がブレイク。「恋愛、青春漫画家」として活躍しながら絵本やSF漫画も制作。03年、各界の偉人にインタビューして漫画にする、対談漫画『絶望に効く薬』を開始。14年、ネットのフリースクール番組を企画、ニコ生にて『山田玲司のヤングサンデー』を開始。メインMCとして、恋愛、映画、漫画、音楽、美術、社会問題などを分析しつつ、世界の本質と「ごきげんに生きる方法」を多彩なレギュラーゲスト(東村アキコ、ドレスコース、ONE他多数)と共に現在も毎週生放送中。漫画の描き方講座も番組内で公開。漫画家では異例の大人気番組となっている。番組から『年上の義務』(光文社)、『見下すことからはじめよう』(KKベストセラーズ)が生まれる。物事の本質を掴んでポップに語るのが最大の特技。

公式X: <https://x.com/yamadareiji>

【きたがわ翔氏の原画展について】

2019年から開催されてきた同氏の原画展は、過去作品の原画やイラストのほか、毎回描き下ろしのアート作品が展示され大変好評となっております。会場では原画や複製原画、オリジナル限定グッズも販売され、2024年の「きたがわ翔原画展2024～涼～」では、C&R社との共同企画として同氏初となる日本画の要素を取り入れた作品作りに初挑戦。日本画に古くから使用されてきた画材を使用した貴重な作品は完売となり、好評を博しました。今回の原画展では貴重な原画や複製画が展示・販売されます。きたがわ氏がイベント会場を訪れることも予定されており、ファンや漫画家志望の方必見の原画展となります。ぜひご来場ください。

きたがわ翔 コミック作品（抜粋）

『19<NINETEEN>』 <http://amzn.to/2BIMXQu>

1988年から1990年にかけて週刊ヤングジャンプ（集英社）に連載された『19<NINETEEN>』。代官山学院大学1年生でラグビー部に所属する主人公・久保田一至の恋愛を描いた青春ストーリーです。ある日、中学時代のクラス会で憧れのマドンナ・藤崎雅菜と再会を果たします。彼女いない歴18年の一至の恋の行方はどうなるのか。恋愛を通して人間的成長を描いた『19<NINETEEN>』は、男性向けコミックながらも繊細なタッチとさわやかなストーリーで絶大な支持を得て、1990年にはOVA化もされた大人気作品です。

『19 FOREVER Prologue』 <http://amzn.to/2BpFT5g>

『19 FOREVER Prologue』は、2010年12月にオー・スーパー・ジャンプ（集英社）に1話限り掲載された『19<NINETEEN>』の続編。45歳を迎えた主人公・久保田一至は、父の介護をしながらサラリーマンとして働く毎日。働く会社は吸収合併されることが決まり、人生に虚しさばかりを感じて日々を過ごしています。そんな折、19歳の頃に働いていた喫茶店「do」にそっくりのお店を見つけます。中から出てきたのは、25年前に亡くなったはずの「do」の店長にそっくりの人物。この人物は一体…？単行本にも未収録の幻の1話。現在、電子書籍版が配信されています。

『19 FOREVER』 <https://amzn.to/2H1zR1M>

『19 FOREVER』は、「CF限定永久保存版」きたがわ翔『19 FOREVER』制作プロジェクト」達成により制作された『19 FOREVER Prologue』の続編。25年前に亡くなったはずの「do」の店長にそっくりの人物との出会いが、主人公・久保田一至が会社員としての人生を変えるきっかけに。49歳を迎えた主人公・久保田一至は一体、どのような人生を選択したのか。きたがわ翔さんの『19<NINETEEN>』への愛、キャラクターたちへの愛、そしてファンたちへの愛に溢れた作品です。ファン必見の感動作！

『B.B.フィッシュ』 <https://amzn.to/2NH5Wwd>

1990年末から約3年にわたり、週刊ヤングジャンプ（集英社）に連載された青春ラブストーリー。幼い頃、毎日のように海へ出かけた葉山潮（主人公）にとって海は母親の体温のようなものだった。ある日、海辺で金髪の少女、神無月沙羅と出会った潮は、風で飛ばされた彼女の帽子が海に流れ、その帽子を魔法使いのような速さで追いかける。8年後、高校生になった潮だが、いつの間にか水恐怖症になり、泳ぐことに恐怖を感じていた。そして潮は沙羅と再会し…。

『C』 男性失格 <https://amzn.to/38zra8o> マゼンタ・ハーレム <https://amzn.to/2VRUqV0>
モンロー・ジョーク <https://amzn.to/2IiWug6> ほんとうの行方 <https://amzn.to/2VMqny1>

“C（シー）”はコンプレックスのC。この作品はコンプレックスを抱える人たちへのメッセージ。

「男性失格」、「マゼンタ・ハーレム」、「モンロー・ジョーク」、「ほんとうに行方」…

“C”は、これら4つの異なるストーリーからなるオムニバス作品です。

コンプレックス（劣等感）に悩む現代社会の人間模様を蒼く、美しく、そして優しく抱きしめるように描かれた特別なコミックス。

※現在電子版は新しい表紙イラストを採用した合本版になっています。

『HOTMAN (ホットマン)』 <https://amzn.to/2TuSWPQ>

1997年から2000年にかけて、週刊ヤングジャンプ（集英社）に連載された、家族の絆と成長を描いた作品。元不良で高校の美術教師をしている“ホットマン”こと降矢円造。彼の目標は、この世から一切の食品添加物を抹殺する事。アトピーに苦しむ娘・七海や愛する家族の為、ヘルシーバカな毎日。だが、過剰ともいえるそのこだわりの理由は…？2003年、2004年と2回にわたり、TBSでドラマ化。反町隆史さんや矢田亜希子さん、小西真奈美さん、市川由衣さんなど、豪華俳優陣が出演し、人気を博しました。

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

本 社：東京都港区新橋四丁目1番1号 新虎通りCORE

設 立：1990年3月

代 表 者：代表取締役社長 黒崎 淳

拠 点：東京（本社）・大阪・札幌・仙台・さいたま・横浜・川崎・高崎・金沢・名古屋・京都・神戸・高松・広島・福岡・熊本・那覇／ソウル・上海・北京・ロサンゼルス・モントリオール

事業内容：映像、ゲーム、Web、広告・出版、作家、舞台芸術、建築、AI/DX、アスリート分野のプロフェッショナルに特化したエージェンシー事業（派遣・紹介）、プロデュース事業（開発・請負）、ライツマネジメント事業（知的財産の企画開発・流通）を展開しています。C&Rグループとしては、医療、IT、会計、法曹、ファッション、食、ライフサイエンス、CXO、アグリカルチャー分野で同事業を展開しており、その分野は合わせて18にまで拡大しています。

U R L：<https://www.cri.co.jp>（コーポレートサイト） | <https://www.cri.co.jp/website-sns/>（公式サイト・SNS一覧）
<https://www.creativevillage.ne.jp/>（プロフェッショナル×つながる×メディア「CREATIVE VILLAGE」）

【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL: 03-4550-0008 FAX: 03-4550-0018 URL: <https://www.cri.co.jp>

